

学会彙報（二〇一九年六月～十二月）

仏教学会活動報告

◇史蹟踏査

二〇一九年十一月二十八日（木）

於 滋賀県大津市・三井寺・西教寺

◇公開講演

二〇一九年十二月六日（金）午後四時二十分～

於 響流館メディアホール

京都市立芸術大学教授 定金計次氏

講題「インド後期仏教石窟と中期密教―『大日経』と胎蔵曼荼羅の成立地および時期について―」

◇研究発表例会

二〇一九年十二月十二日（木曜）午後四時二十分～

於 響流館マルチメディア演習室

「契経は世親にとって有部を破する一本槍である―アビダルマにおける蘊の解釈―」 箕浦暁雄氏（本学教授）

「『華嚴経』第一普光法堂会の思想的意味について」 織田顕祐氏（本学教授）